

耐薬品データ

◎：ほとんど影響なし
 ○：条件により使用可
 △：使わない方がよい
 ×：使用不可
 -：データなし

エンジニアリングプラスチック耐薬品

- (1) プラスチックの耐薬品性は使用環境(濃度、温度、時間)により特性が変わりますので、保証するものではありません。
- (2) 記載データはあくまで、参考データとしてご使用下さい。判定が『◎』、『○』であっても、使用環境により適さない場合がありますので、必ず実際の使用環境下での評価を確認し、貴社の判断でご使用下さい。
- (3) 記載のない部分『-』は、現在有用なデータが無いか得られないことを示します。
- (4) 表中の()内の数値は、濃度を示します。

	POM	PA	PBT	PC	ABS	PP	
有機溶剤	アセトン	○	◎	○	×	×	△
	ベンゼン	○	◎	◎	×	×	○
	四塩化炭素	○	◎	◎	-	×	△
	ホルマリン(5%)	-	-	-	◎	-	-
	ホルマリン(30%)	-	○	-	-	-	-
	ホルマリン(37%)	-	-	-	-	◎	◎
	エチルアルコール	◎	○	◎	○	◎	◎
	メチルアルコール	-	○	◎	◎	×	◎
	トルエン	○	◎	○	×	×	○
	キシレン	◎	◎	◎	×	-	○
	メチルエチルケトン	-	◎	-	×	×	-
	酢酸エチル	△	◎	-	×	×	-
活性ガス	アンモニア	-	◎	-	-	○	-
	オゾン	-	×	-	-	△	-
	塩素ガス(乾)	×	×	-	×	×	△
	塩素ガス(湿)	×	×	-	×	×	△
	亜硫酸ガス	-	-	-	○	○	◎
	水蒸気(150℃以下)	△	×	-	△	×	△
	水蒸気(150℃以上)	×	×	-	△	×	△
各種酸	王水	-	-	-	×	×	△
	クロム酸(10%)	-	△	-	-	×	-
	希硫酸(2%)	-	△	-	-	-	-
	希硫酸(3%)	◎	-	-	-	-	-
	希硫酸(10%)	-	-	○	-	◎	◎
	濃硫酸(98%)	-	×	-	×	×	◎
	希硝酸(2%)	-	△	-	-	-	-
	希硝酸(10%)	×	-	-	-	○	◎
	濃硝酸(61%)	-	×	-	×	×	-
	希塩酸(1%)	-	-	-	◎	-	-
	希塩酸(2%)	-	△	-	-	-	-
	希塩酸(10%)	×	-	◎	-	◎	◎
	濃塩酸(36%)	-	×	-	-	△	◎
	酢酸(1%)	-	-	-	◎	-	-
	酢酸(10%)	×	△	-	-	◎	◎
シュウ酸(50%)	-	-	-	-	-	◎	
アルカリ	希苛性ソーダ(1%)	-	-	-	△	-	-
	希苛性ソーダ(10%)	◎	-	×	-	△	◎
	濃苛性ソーダ(5%)	-	-	×	-	-	◎
	アンモニア(28%)	-	-	-	×	△	-
	次亜塩素酸ソーダ(0.5%)	-	-	-	◎	-	-
	次亜塩素酸ソーダ(5%)	△	-	-	-	-	◎
燃料等	ベンジン	△	○	-	×	△	△
	ガソリン	○	◎	◎	○	△	○
	潤滑油 ^{※1}	○	○	-	◎	◎	○
	グリース ^{※1}	-	○	-	◎	◎	△

※1 成分により影響を受ける場合があります。

上記データは耐ストレスクラッキング特性を示すものではありません。外的応力下でご使用される場合は、ご注意願います。データは23℃、24H浸漬、若しくは塗布での判定です。